

2018年度ワンゲル尾瀬 ～至仏山登頂断念し黄葉の尾瀬ヶ原を散策～

記録 行田 眞勝

期日 2018年10月12日(金)日帰り

天候 曇り時々雨

参加者

宮田宏美、山下和正、木村 秩、小磯義昭、早川充、宍倉弘、高橋龍己、行田眞勝、藤野 昇、蛇川敏雄
佐久間 勤、木村いよ子、高橋幸代、佐久間弘子、大知洋子、倉持良子、島田美智子 17名

バス：長妻観光、宮田さんは鳩待峠で合流、松之山凌雲閣女将の島田さんは片品村梅田屋旅館で合流

行程

坂東ヨ-タウン	～	坂東IC	～	高坂SA	～	沼田IC	～	梅田屋旅館	～	尾瀬高原ホテル	～	
5:30		5:40		6:30	6:50	7:52		8:30	8:47	9:00		
鳩待峠駐車場	～	鳩待峠	～	山の鼻	～	尾瀬ヶ原散策	～	山の鼻	～	鳩待峠	～	鳩待峠駐車場
9:25	9:35	9:42		10:58	11:33			13:08	13:24	14:41	14:55	
尾瀬高原ホテル	～	道の駅白沢(望郷の湯)	～	沼田IC	～	高坂SA	～	板東IC	～	板東ヨ-タウン		
15:23	15:33	16:15		18:15	18:25	19:28	19:44	20:31	20:45			

記録

ワンゲル秋のハイキングは尾瀬の至仏山が企画され、10月12日(金)朝5:20にいつものヨ-タウン イエロ-ハット前に集合した。生憎の小雨で天候が心配される。5:30長妻観光のバスで出発、宮田さんは現地、島田さんは片品村の宿で合流となる。圏央道の坂東ICから高速に入り鶴ヶ島JCT経由で関越道に入るル-トをとる。走行中も雨が降っているが、天候は回復予報となっており期待する。当初は上里SAで休憩し朝食・昼食・行動食等を買出しの予定であったが、手前の高坂SAに6:30に到着し、ここで休憩となる。20分程休憩後の6:50出発、関越道を走行していると途中日光・赤城山方面に雲海がかかっていた。

西の方角は青空が見えている部分もあるが、東の方角は曇っており「西の方角が晴れているから大丈夫」「いや肝心の北・東の方角は太陽が出ていない」の押し問答があった。晴天を諦めている人、期待している人それぞれだ。

沼田ICを7:52に降り、木村さんが鳩待峠行のシャトルバス予約の確認を行う。沼田ICから40分程の8:30、前日から島田さんが宿泊していた片品村の日本秘湯を守る会会員の宿梅田屋旅館に着き合流する。シャトルバス待合せの場所戸倉スキー場の尾瀬高原ホテルには8:47に予定より10分程早く到着、シャトルバスに乗り換える。この辺りはやはり気温が低くなり防寒具等を着用する。

女性運転手のシャトルバスで鳩待峠に向かう途中、山肌が色づいており青空であれば映えるだろうと思うが残念ながら曇り空です。鳩待峠の駐車場には9:25に到着、ここで宮田さんと合流です。駐車場から登山予定であった至仏山方面を見るとガスっており、気温も低くて風も強そうなため「どうせ登っても展望は期待できそうもない」と、迷わずル-ト変更となった。賢明な判断です。

鳩待峠は天候不順且つ平日でもあり、9:30も過ぎていたので閑散としていた。登山口でH氏のみ見当たらず、待っていないと間違えて至仏山方面に行ってしまうことも想定されたため(でもないか?)しばらく待つ。待っていると何とか合流し9:42山の鼻へ向かう。山の鼻までは下り基調の木道歩きが続くので、雨で濡れた状態ではスリッパして転倒する危険があり慎重に下る。しかしスリッパして転倒するハイカ-が多いのか、木道も案外スリッパ対策がされ、要所にスキー-場でよく見るラバ-シ-トが設置されていた。年々整備されているんですね。

肝心の紅葉はというと、時期や昨今の台風の影響等もあってか落葉が目立ち、木々の紅葉(黄葉)も曇り空のなかでは映えないが所々綺麗な紅葉が観られる。途中至仏山の山肌が現れるが、頂上付近は雲隠れしている。山の鼻まで、山下さんの良いペースで下っていく。山の鼻には10:58到着、立派なビジター-センターが建っていたが、中では飲食できず建物脇のベンチで大休止となり各自昼食を摂る。雨は止んでいたが空模様はすっきりしない状態のなか11:33尾瀬ヶ原散策に向かう。

尾瀬ヶ原は青空は見えていないが草紅葉の風景がとても素晴らしく見応えがある。周辺の山々も白樺をアクセントに紅葉で染まっており、青空であればひととき素晴らしい眺めであろう。残念ながら至仏山や燧ヶ岳はその姿を隠した状態である。取りあえず牛首の分岐まで進むこととする。途中記念撮影をしながらのんびり歩いていく。牛首には12:20に到着、ここで10分程尾瀬ヶ原の草紅葉周辺の山々の紅葉を觀賞する。相変わらず至仏山・燧ヶ岳は姿を現さない。

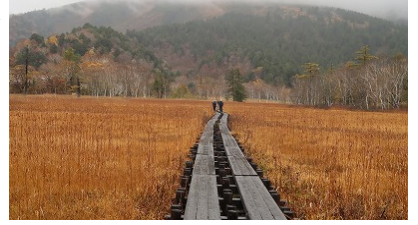
鳩待峠にシャトルバス15:00の待合せとなっているので、尾瀬ヶ原散策は牛首までとなり、10分程休憩後の12:30山の鼻に向かい戻る。

正面に頂上の姿を現さない至仏山を觀ながら、雨が降ったため濡れた木道を歩いていく。周りを見ると草黄葉とともに、湿原にはオゼコウホネの葉が沢山浮かんでいる。あまり木道から目線を外すと落ちかねないが、誰とは書きませんが木道から何事もなかったように落ちた方が・・・。

山の鼻には13:08戻り、小休止後13:24鳩待峠までの元の道を、今度は登って



いく。戻る途中小雨が降り出していたが大したことはない。明日は土曜日のためか鳩待峠からのハイカ - と結構多くすれ違う。明日は今日より天候が回復して山も良く見えるかもしれない。鳩待峠には14:41に到着、木道で滑った方が複数いましたが、怪我もなく全員無事に帰還しました。鳩待峠を14:55シャトルバスで出発、途中の紅葉を満喫しながら尾瀬高原ホテルには15:23に到着。15:33長妻観光のバスに乗り換えて温泉のある道の駅白沢（望郷の湯）に向かって走り出す。島田さんは宮田さんの車で梅田屋旅館に向かい、自転車で道の駅白沢へ合流することとなる。バスは16:15に到着した（予定では18:00であった）。道の駅白沢の望郷の湯はアルカリ性単純温泉で、筋肉痛・関節痛他に効果があるらしい。露天風呂に入っていると17:00頃ちょうど夕日が沈む瞬間を見ることができた。カメラを持ち込みできないので撮影できなかったのは残念である。入浴後に各自思い思いの夕食を摂り2時間程のんびりしながら、幹事の皆様は次の計画を立てていた。ここで2時間程休憩した18:15出発、ここで宮田さん、島田さんと別れ坂東へと向かう。バスの中では酒好きの方若干6名が、島田さん（松之山凌雲閣女将）から頂いた各種名酒を頂きながら帰路につく。往きと同じルートで坂東ヨークタウンには20:45、予定より45分早く到着した。今回は天候不順で当初の至仏山登頂を断念しましたが、幹事の皆様、参加者の皆様お疲れ様でした。



ツリンドウ

